

2018

# 「かがわ第九」演奏会

～みんなで造ろう!! 香川の第九～

レクザムホール  
大ホール

(香川県県民ホール)

11月11日(日)

開演 14:00(開場 13:00)

入場料 一般 3,500円  
学生 1,000円

(高校生以下)

ベートーヴェン 交響曲第9番 ニ短調作品125 〈合唱付〉

Beethoven Symphony No.9 in D minor op.125 "Choral"

モーツァルト 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲

- ・指揮/栗辻 聡
- ・独唱/佐々木典子 小川 明子  
上原 正敏 佐野 正一
- ・管弦楽/関西フィルハーモニー管弦楽団
- ・合唱/香川第九合唱団 他

- 主催/香川第九実行委員会
- 共催/香川県、高松市
- 支援/公益財団法人置県百年記念香川県文化芸術振興財団
- 後援/高松市教育委員会、さぬき市、善通寺市、土庄町、朝日新聞高松総局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、エフエム香川、FM815、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、産経新聞社高松支局、四国新聞社、毎日新聞高松支局、読売新聞高松総局、香川こまち、高松リビング新聞社、ナイスタウン出版、全日本「第九を歌う会」連合会、非営利株式会社ビッグ・エス インターナショナル、香川日独協会



芸術文化振興基金助成事業 かがわ文化芸術祭 参加公演・行事



※入場券取扱所/県下有名楽器店各プレイガイド  
●お問い合わせ先/〒761-1402 香川県高松市香南町由佐 1382-33 中西久米子 方  
(TEL / 090-3789-8869)

イラストレーション 香川県立高松工芸高等学校  
2年デザイン科 池内 藍華



# 出演者プロフィール

## 指揮者

マツツ  
粟辻

ソウ  
聡



(C)SHIN.YAMAGISHI

2015年、第6回ロブロ・フォン・マタッチ国際指揮者コンクール第2位を受賞。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻を首席で卒業し、音楽学部賞並びに京都音楽協会賞を受賞。その後、オーストリア国立グラーツ芸術大学大学院オーケストラ指揮科、スイス国立チューリッヒ芸術大学大学院指揮科を首席で卒業。

これまでに、ザグレブ・フィルハーモニー管弦楽団、マケドニア・フィルハーモニー管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団（チェコ）、フラデツ・クラロヴェ・フィルハーモニー管弦楽団（チェコ）、ムジークコレギウム・ヴィンタートゥール（スイス）、パート・ライヒェンハル・フィルハーモニー管弦楽団（ドイツ）、聖クリストファー室内合奏団（リトアニア）、ルーセ・フィルハーモニー管弦楽団（ブルガリア）、オタワ・ナショナル・アーツ・センター管弦楽団（カナダ）、日本フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団、山形交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、いずれも好評を博す。

これまでに指揮を、秋山和慶、尾高忠明、増井信貴、谷野里香、マルティン・ジークハルト、ヨハネス・シュレーフリに、オペラ指揮法をウォルフガング・ボジチ氏に師事。指揮講習会においてベルナルト・ハイティンク、デイヴィッド・ジンマン、エサベッカ・サロネン、アンドリス・ボーガ、鄭致溶、井上道義、湯浅勇治、飯森範親、沼尻竜典、下野竜也の各氏から指導を受ける。

ムジカA国際音楽協会会員、公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団音楽奨学生、2012年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション音楽奨学生。第28回京都芸術祭音楽部門亀岡市長賞受賞。奈良フィルハーモニー混声合唱団指揮者。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻非常勤講師。

## ソリスト

ソプラノ  
ササキ ユキ  
佐々木典子



武蔵野音楽大学卒業後、ザルツブルクのモーツァルト芸術大学オペラ科を首席で修了。その後、ウィーン国立歌劇場オペラ研修所を経て、同歌劇場にソリストとして本契約する。ウィーン国立歌劇日本公演、夏期並びに復活祭のザルツブルク音楽祭のオペラ公演に出演。ウィーンをはじめヨーロッパ各地の劇場で数多くの舞台上立ち、コンサートにも多数出演。

帰国後は、二期会、数々の団体で、「魔笛」パミーナ、「コジ・ファン・トゥッテ」フィオリディリージ、「真夏の夜の夢」ヘレナ、「こうもり」ロザリンデ、「フィガロの結婚」伯爵夫人、「ニュルンベルクのマイスタージンガー」エファ、「タンホイザー」エリザベートなど、主役には不可欠な存在としてその地位を確立。特に、R・シュトラウスの作品は、重要な位置をしめる。NHKニューイヤーコンサート、NHKクラシック倶楽部等の出演。CDオールR・シュトラウスのプログラム「四つの最後の歌」。

熊本市女性賞、第2回ホテルオークラ音楽賞受賞、東燃ゼネラル音楽賞洋楽部門本賞受賞。東京芸術大学音楽学部教授。東京二期会会員。

アルト  
オガワ アキコ  
小川 明子



東京芸大卒、同大学院修了。文化庁オペラ研修所第10期修了。1997年文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンに留学。モーツァルト「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」、ワーグナー「さまよえるオランダ人」などのオペラに出演。ヘンデル「メサイア」、バッハ「マタイ受難曲」「口短調ミサ」などの宗教曲やベートーヴェン「第九」、マーラーの交響曲などで多くのオーケストラや合唱団と共演。また指導者、ヴォイストレーナーとして多くの合唱団と関わっている。

CD「日本歌曲選」「啄木とみすゞを歌う」「からたちの花 山田耕筰歌曲集」「荒城の月

国楽を離陸させた偉人たち」「さくら横ちょう 中田喜直4つの歌曲集」「早春賦 日本歌曲選2」「お菓子和娘 橋本國彦歌曲集」（ピアノ：山田啓明）「落葉松 アルトとギターで紡ぐ日本の歌」（ギター：荘村清志）をリリース。

1992年第61回日本音楽コンクール声楽部門第2位、1993年第4回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位（山田耕筰賞）。二期会会員。

テノール  
ウエハラ マサトシ  
上原 正敏



国立音楽大学大学院声楽科修了。声種はリリコレツジェーロ。デビュー時に甘い声と高音を苦としない長身のテノールとして注目される。1992年よりイタリア留学。ミラノや近郊都市にてコンサート、オペラに出演し、パドヴァ「イリス・アダミ・コラッデッティ」国際コンクールを始めとする様々の国際コンクールに1位、入賞を重ねる。

その後、ヨーロッパの名門ボローニャ歌劇場オーディションに合格し、同劇場にて本格的なヨーロッパデビューをする。また、ハンガリー・ブダペスト国際コンクールにて1位になったのをきっかけに、ボローニャ歌劇場、アレナ・ディ・ヴェローナ、

ハンガリー国立歌劇場、ドイツ・オルデンブルグ市立劇場、フィナーレ・エミーリア劇場、サントリーホール、新国立劇場、二期会など国内外の劇場にて様々なオペラ、コンサートに出演。ニッカオペラ新人賞受賞、五島記念文化財団オペラ賞受賞。ピアノの大須賀恵里とCD「赤い靴 大人のための童謡曲集」をリリース雑誌等に取上げられ好評である。二期会会員

バリトン  
サノ マサカズ  
佐野 正一



東京芸術大学卒業、同大学院修了。卒業時、宮中の桃華楽堂にて御前演奏を行う。宮本亜門演出「コズィ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、二期会「ファルスタッフ」フォード、小澤征爾指揮「フィガロの結婚」（演奏会形式）フィガロ、市川右近演出「撒羅米」、など多数出演。特に東京文化会館大ホール公演での「外套」ミケーレ役では、その心情表現を新聞評、音楽雑誌評にて絶賛された。海外では、NYのカーネギー・ホール、ウィーンの楽友協会他で「感動の第九」のソリストとして出演する。ホテル椿山荘東京でのディナーコンサートも今年で20年目を迎える。NHK・FM土曜リサイタル、名曲リサイタルに出演。

日伊声楽コンクール第2位、日仏声楽コンクール第2位。日本音楽コンクール2度入選。尚美学園大学非常勤講師、聖徳大学兼任講師。さいたまシティオペラ副会長。日本演奏連盟、日伊音楽協会、日本フォーレ協会、日本声楽アカデミー、東京二期会、各会員。

## 関西フィルハーモニー管弦楽団

1970年ヴィエール室内合奏団発足、1982年1月関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。1994年より常任指揮者に国際的に活躍するウリ・マイヤールが就任し、平成6年度大阪文化祭賞本賞を受賞した。2003年より特定非営利活動法人、2014年より認定NPO法人化。関西を代表するオーケストラの一つとして文化・社会への貢献を目指して積極的に活動を続けている。平成22年度大阪文化祭奨励賞受賞。

世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年1月より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年4月より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2001年より常任指揮者を務め、2011年1月より桂冠名誉指揮者に就任。

人間の営みから生まれた音楽『ヒューマニズム』をテーマに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開するとともに地域密着を重視。関西出身の若手アーティストも積極的に起用している。活動に明確なビジョンを持ち、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとしてみずみず好評を博している。

2015年5月から6月にかけて、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー（合計5公演）を開催し、各地で大きな注目を集めた。BS日本の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」（毎週土曜23時半）に藤岡幸夫と共に出演中。

オフィシャル・ホームページ <http://www.kansaiphil.jp/>



(C)s.yamamoto